



MEIKAI-JOEプラス・2022 第6回講座

学校段階間の接続の重要性

令和4年8月1日(月)

明海大学 教授 石鍋 浩
教授 坂本 純一



事前課題

- 各地区における学校段階間の接続の成果と課題について他校・他地区の参加者と協議できるようにしておきましょう。

講座への希望調査の中から

- 小中の接続については、小学校の担当者としても必要な内容ですが、中高の接続については、必要ないとは言わないまでも、重要度はずっと低いと思うので、講座での扱いはもっと軽くていいと思います。

講座への希望調査の中から

- 小中の接続については、小学校の担当者としても必要な内容ですが、**中高の接続については、必要ないとは言わないまでも、重要度はずっと低いと思う**ので、講座での扱いはもっと軽くていいと思います。

講座に限ってのご意見
とは思いますが・・・

本講座の概要

- 小学校段階において育むべき資質・能力を、三つの柱に沿って、教育課程全体及び教科等ごとに明確化し、中学校以後の学びに円滑に接続させることが求められています。本講座では、各地区における学校段階間の接続の成果と課題を出し合い、小学校から中学校以後の指導へ円滑に接続できるようにするための指導方法や言語活動等について考えていきます（講義・協議型）。

早速ですが、話し合いをお願いします！

- なぜ、小学校から中学校以後の教育への円滑な接続が求められているのだと考えますか？

2つの拠点校
から発表



これからの時代に求められる資質・能力

①何を理解しているか、何ができるか

(生きて働く「知識・技能」の習得)

②理解していること・できることをどう使うか

(未知の状況にも対応できる

「思考力・判断力・表現力等」の育成)

③どのように社会・世界と関わり、

よりよい人生を送るか

(学びを人生や社会に生かそうとする

「学びに向かう力、人間性等」の涵養)

小・中・高に共通する「見方・考え方」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは、外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

小・中・高に共通する「見方・考え方」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは、外国語で表現し伝え合うため、**外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え**、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

小・中・高に共通する「見方・考え方」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは、外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、**コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。**

小・中・高に共通する「見方・考え方」

各教科等の「見方・考え方」は、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。（小学校学習指導要領解説「外国語活動・外国語編」）

見方→どのような**視点**で**物事**を捉えるのか

考え方→どのような**考え方**で**思考**していくのか

小・中・高に共通する「見方・考え方」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは、外国語で表現し伝え合うため、

【見方】外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、

【考え方】コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築する

こと。

小・中・高に共通する「見方・考え方」

- 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」とは、外国語によるコミュニケーションの中で、どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのかという、物事を捉える視点や考え方であり、「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」であると考えられる。
- 外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉えるとは、外国語で他者とコミュニケーションを行うには、社会や世界との関わりの中で事象を捉えたり、外国語やその背景にある文化を理解するなどして相手に十分配慮したりすることが重要であることを示している。
- また、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築することとは、多様な人々との対話の中で、目的や場面、状況等に応じて、既習のものも含めて習得した概念(知識)を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、課題を見いだして解決策を考えたり、身に付けた思考力を発揮させたりすることであり、外国語で表現し伝え合うためには、適切な言語材料を活用し、思考・判断して情報を整理するとともに、自分の考えなどを形成、再構築することが重要であることを示している。

(小学校学習指導要領解説「外国語活動・外国語科編」)

外国語(英語)に関する各地区の連携・接続の状況を教えてください。

- 先生方の学校では、小学校・中学校間の連携が行われていますか？
- 授業参観は？
- 年間指導計画の交換等は？
- 指導方法等についての検討会は？
- 授業参観後の研究協議は？
- 小中連携したカリキュラムの作成は？

令和3年度英語教育実施状況調査(文科省)

6. 英語教育に関する小中連携の状況 (令和3年度実績)

6-(1) 英語教育に関する小中連携の実施状況 【該当する欄に、学校数を入力してください。】

注) 実施内容が(2)取組内容のア～ウのいずれかに該当する場合、「実施した(する)」とすること。

※接続する小学校と確認した上で、回答するしてください。

	実施した(する)	実施しなかった(しない)
令和3年度実績	6,708	2,541

実施した(する)/学校数
72.5%

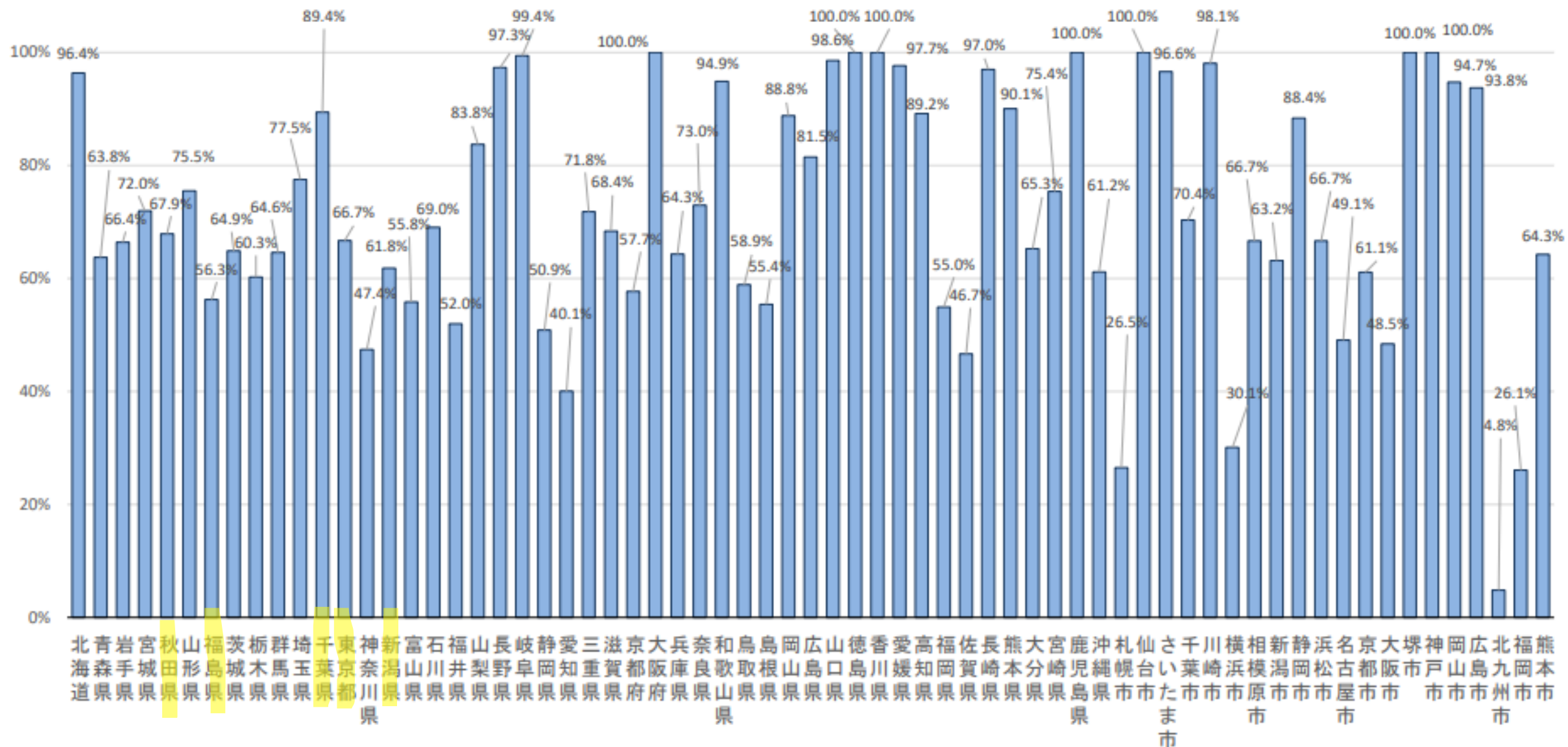
令和3年度英語教育実施状況調査(文科省)

6-(2) 英語教育に関する小中連携の取組内容
【(1)で「実施した(する)」と回答した学校のみ回答してください。】
【該当する欄に、「1」を入力してください。複数回答可。】

	令和3年度 実績
ア. 情報交換 (互いの取組・実践を情報として交換する。) 例: 授業参観、年間指導計画の交換	5,787
イ. 交流(情報交換した内容について研究協議する。互いの学校で 授業を行う。) 例: 指導方法等についての検討会、授業参観後の研究協議、 中学校教員による小学校での授業	3,675
ウ. 小中連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定	1,867

ア・イ・ウの学校数に占める割合
62.6%
39.7%
20.2%

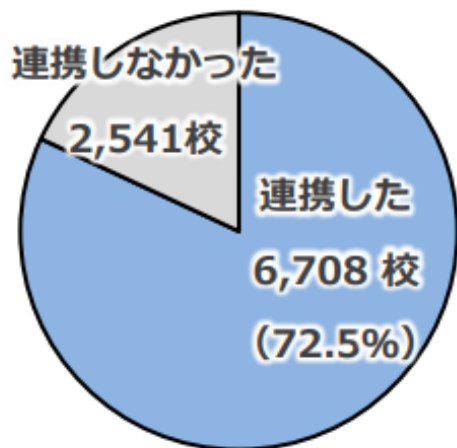
小学校と連携している中学校の割合



小学校・中学校・高等学校の連携に関する状況

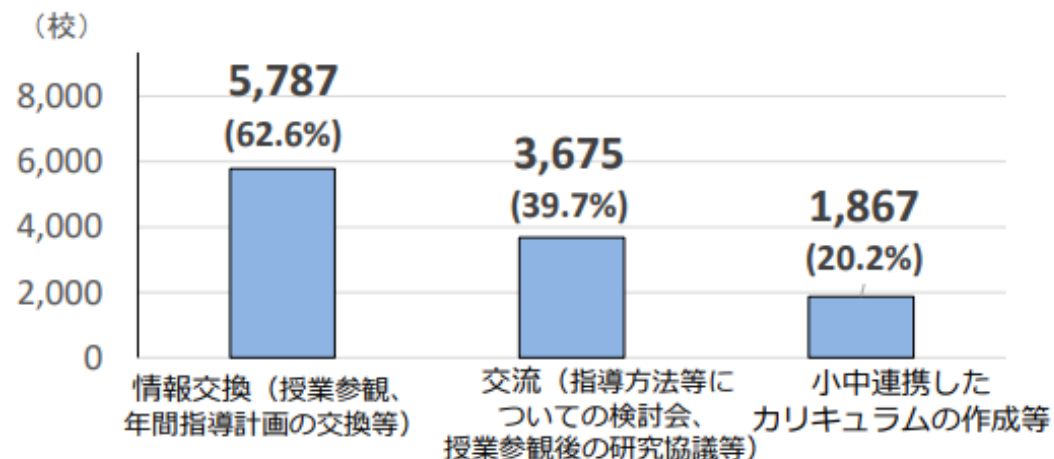
○小学校との連携に取り組んでいる中学校の割合は72.5%であり、未だに全学校には至っていない。地域によって、大きな差がある。

小学校との連携に取り組んでいる中学校



※全体数は、調査対象の中学校9,249校。

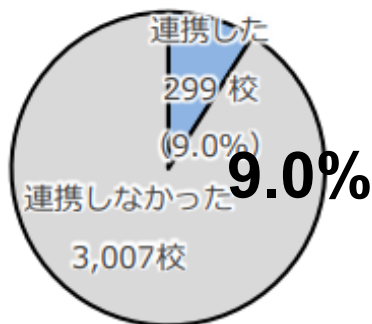
【中学校と小学校との連携の形態】



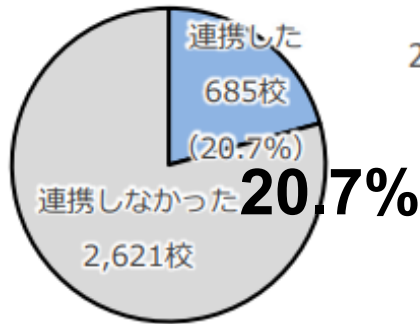
※全学校数を分母として割合を計算。

小・中学校との連携に取り組んでいる高等学校

【小学校との連携】

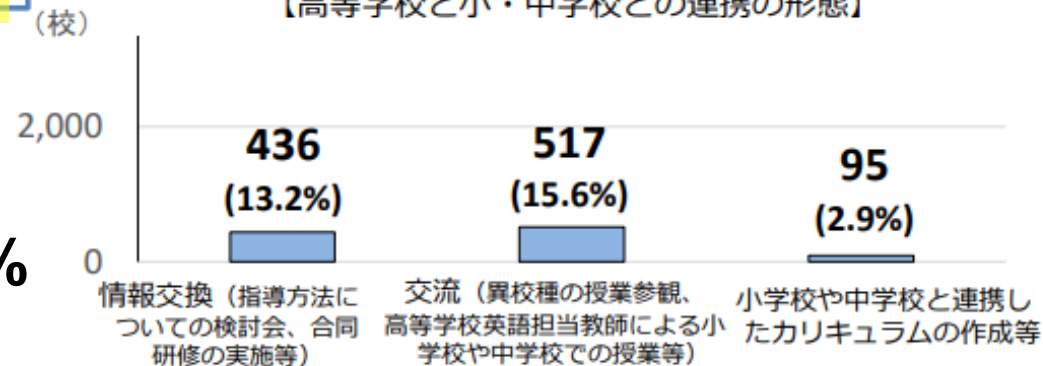


【中学校との連携】



※全体数は、調査対象の高等学校3,306校。

【高等学校と小・中学校との連携の形態】



※全学校数を分母として割合を計算。

小学校・中学校間の連携・接続の成果と課題

- 各地区における「成果」と「課題」を出し合いましょう！

各地区
から発表

○他地区の発表を聞いて
共通点は？
新たな発見は？

○他地区への質問

中学校学習指導要領解説外国語編 改訂の趣旨から

【今までの成果】

- ・様々な取組を通じて指導の充実が図られてきた。
- ・中学校においては、小学校における外国語活動の成果として、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成され、「聞くこと」及び「話すこと」の活動を行うことに慣れていているといった変容が生徒に見られること等も踏まえ、授業における教師の英語使用や生徒の英語による言語活動の割合などが改善されてきている。

中学校学習指導要領解説外国語編 改訂の趣旨から

【今までの課題】

- ・学年が上がるにつれて児童生徒の学習意欲に課題が生じるといった状況や、**学校種間の接続が十分とは言えず**，進級や進学をした後に，それまでの学習内容や指導方法等を発展的に生かすことができないといった状況も見られている。
- ・授業では依然として，文法・語彙等の知識がどれだけ身に付いたかという点に重点が置かれ，**外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組**，特に「話すこと」及び「書くこと」などの言語活動が適切に行われていないことや「やり取り」・「即興性」を意識した言語活動が十分ではないこと，読んだことについて意見を述べ合うなど，**複数の領域を統合した言語活動が十分に行われていない**ことなどの課題がある。また，生徒の英語力の面では，習得した知識や経験を生かし，**コミュニケーションを行う目的や場面，状況等に応じて自分の考えや気持ちなどを適切に表現すること**などに課題がある。

各地区への希望調査から

- 小・中・高で目指す姿の具体（Y）
- 小学校（外国語活動、外国語）、中学校（外国語）がねらいとすること及び授業で目指すべき子どもの姿を段階ごとに示していただけるとありがたい。（M）
- 小学校英語のゴールイメージについて（K）

「外国語活動・外国語の目標」の学校段階別一覧表

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

外国語科の目標

	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語	高等学校 外国語
	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語科の目標

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，話すことの言語活動を通して，コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

小学校第5学年及び第6学年 外国語

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動を通して，コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語科の目標

中学校 外国語

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

高等学校 外国語

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(知識及び技能)	(1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くこと、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)	(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(学びに向かう力、人間性等)	(3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

思考力・判断力・表現力等

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動

- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

小学校第5学年及び第6学年 外国語

- コミュニケーションを行う**目的や場面、状況**などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら**読んだり**、語順を意識しながら**書いたり**して、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

思考力・判断力・表現力等

中学校 外国語

- コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

高等学校 外国語

- コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

高等学校学習指導要領解説 付録

○他に

「5つの領域別の目標」

の学校段階別一覧表がありますので参考に
してください。



各地区への希望調査から

- 接続のために、何をどのように行うか（Y）
- 小学校・中学校における目指すべき子どもの姿につながる言語活動例を知りたい。（M）

「外国語活動・外国語の言語活動の例」の学校段階別一覧表

	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語	高等学校 英語コミュニケーションⅠ
聞くこと	(ア) 身近で簡単な事柄に関する短い話を聞いておおよその内容が分かったりする活動。	(ア) 自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。	(ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。	(ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
	(イ) 身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。	(イ) 日付や時刻、値段などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。	(イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。	(イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
	(ウ) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体で書かれた文字と結び付ける活動。	(ウ) 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。	(ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。	
			(エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。	

話すこと 【やり取り】	(ア) 知り合いと簡単な挨拶を交わしたり、感謝や簡単な指示、依頼をして、それらに応じたりする活動。	(ア) 初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動。	(ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。	(ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。
	(イ) 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好みや要求などの自分の気持ちや考えなどを伝え合う活動。	(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。	(イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。	(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。
	(ウ) 自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。	(ウ) 自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする活動。	(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。	

話すこと(やり取り)

小学校第3学年及び第4学年

外国語活動

知り合いと簡単な挨拶を
交わしたり，感謝や簡単
な指示，依頼をして，そ
れらに応じたりする活動。

小学校第5学年及び第6学年

外国語

初対面の人や知り合いと
挨拶を交わしたり，相手
に 指示や依頼をして，
それらに応じたり**断った**
りする活動。

中学校

外国語

関心のある事柄について，
相手からの質問に対し，
その場で適切に応答した
り，**関連する**質問をした
りして，**互いに**会話を継
続する活動。

話すこと(発表)

小学校第3学年及び第4学年

外国語活動

自分の好き嫌いや、欲しい物などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。

小学校第5学年及び第6学年

外国語

簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。

中学校

外国語

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。



各地区への希望調査から

- 小・中接続の事例紹介（I）
- 小中交流の授業づくりの具体例を紹介してほしい。（M）

小中接続の具体例

- 授業参観
- 年間指導計画の交換等
- 指導方法等についての検討会
- 授業参観後の研究協議
- 小中連携したカリキュラムの作成

+αとして（提案）

- ・中学校の教員が、小学校で出前授業をする。
- ・小中学校の教員が、お互いの学校でチーム・ティーチングをする。
- ・小中学校の教員が、合同で学習指導案を作成する。
- ・小中学校の教員が、合同でワークショップを行う。

小・中連携した活動事例(中学校1年生における小学校との連携の在り方について)

「外国語教育強化地域拠点事業」～山口県光市立室積小学校・室積中学校～

地域の特色・課題

校種間のつながり(「人」・「もの」・「方法」の3つの連携)を活かした外国語教育の推進

めざす
子どもの姿

室積中学校

- ・まちがいをおそれず、自分の意見や考えを積極的に表現できる生徒
- ・英語を用いて、地域や社会と積極的に関わることができる生徒

室積小学校

- ・まちがいをおそれず、英語で思いを伝え合うことで、英語を使う喜びを味わうことができる児童
- ・英語を用いて、自分のことや友達のことを表現できる児童



「人」の連携

【教職員のつながり】

- ・毎月1回の英語教育ベース会議
- ・校種間による乗り入れ授業
- ・小中合同研修会の実施
- ・気軽な授業参観 など



【児童生徒のパフォーマンス動画を視聴しながら評価の研修をする小・中学校員】

取組事例①

【児童・生徒のつながり】

- ・動画による間接交流
- ・小中合同授業の実施



【中学生の視フォーマンスを小学生に】



【お店役とお客役に小中学生】

「もの」の連携

小中で共通の
Classroom English

【教材のつながり】

- ・クラスルームイングリッシュ(児童・生徒用)
- ・CAN-DOリスト
- ・評価シート
- ・ワークシート
- ・動画コンテンツ など



取組事例②

「方法」の連携

【授業方法のつながり】

- ・授業スタンダード4Stepsの活用(授業の組立)
- ・授業や単元の展開方法
- ・ICTの活用方法
- ・評価方法 など

取組事例③

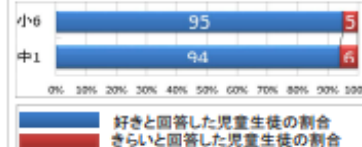
成果

・それぞれの学校で目指す子どもの姿(どんな力をつけたいのか)を共有したり、授業づくりで大切にしていること等の確認ができています。

・小・中学校ともに、授業改善に活かされている。

・学習意欲の向上とスムーズな接続につながっている。

意識調査：外国語の授業は好きですか？



今後の課題

・中学校においては、英語でのやりとりの流暢さだけでなく、英語教員の専門性をいかして、英語表現のより細かいところまでの正確さの指導が求められる。

・文字指導については、小学校からのスムーズなつながりを意識しながら、抵抗感なく取り組める指導方法を研究していくことが必要である。

★授業スタンダードの活用

授業4Steps

- 1 Warm Up
- 2 Practice/Today's Goal
 - ・表現への慣れ
 - ・動くCAN-DOリストの視聴
- 3 Activity
 - ・クラスルームイングリッシュの活用
 - ・リアクションを含めた自然なコミュニケーション
 - ・タブレット端末の活用
- 4 Look Back

★授業や単元の展開方法【小中共通の取組→小学校からの中学校への積み上げ】

①GOALイメージをもたせた授業展開

- ・動画によるモデルの視聴

②子どもの興味関心を大切に授業や単元の展開

- ・地域の素材をいかした単元計画
- ・小中連携をいかした単元計画

③場の設定の工夫

- ・必然性やリアリティのある場づくり

④表現力を高めるアクティビティの実践

- (例) 1 minute talk
インタビュービンゴ etc
- 表現の定着
 - ・語彙や表現の引き出しの増加
 - ・表現の高度化と正確性

⑤振り返りカードの活用

- ・良さの共有
- ・教員やALTへの質問(知りたい表現)

地域の特色・課題

校種間のつながり(「人」・「もの」・「方法」の3つの連携)を活かした外国語教育の推進

「人」の連携

【教職員のつながり】

- ・毎月1回の英語教育ベース会議
- ・校種間による乗り入れ授業
- ・小中合同研修会の実施
- ・気軽な授業参観 など



【児童生徒のパフォーマンス動画を視聴しながら評価の研修をする小・中学校員】

【児童・生徒のつながり】

- ・動画による間接交流
- ・小中合同授業の実施



【中学生の
パフォーマンスを
視聴する小学生】



【お店役とお客役に
分かれて活動する
小中学生】

「もの」の連携

【教材のつながり】

- ・クラスルームイングリッシュ (児童・生徒用)
- ・CAN-DOリスト
- ・評価シート
- ・ワークシート
- ・動画コンテンツ など



小中で共通の
Classroom English



取組事例②

「方法」の連携

【授業方法のつながり】

- ・授業スタンダード4Stepsの活用 (授業の組立)
- ・授業や単元の展開方法
- ・ICTの活用方法
- ・評価方法 など

取組事例③



取組事例①

★授業スタンダードの活用

授業4Steps

- 1 Warm Up
- 2 Practice / Today's Goal
 - ・表現への慣れ
 - ・動くCANDOリストの視聴
- 3 Activity
 - ・クラスルームイングリッシュの活用
 - ・リアクションを含めた自然なコミュニケーション
 - ・タブレット端末の活用
- 4 Look Back

★授業や単元の展開方法【小中共通の取組→小学校からの中学校への積み上げ】

①GOALイメージをもたせた授業展開

- ・動画によるモデルの視聴

②子どもの興味関心を大切にしながら授業や単元の展開

- ・地域の素材をいかした単元計画
- ・小中連携をいかした単元計画

③場の設定の工夫

- ・必然性やリアリティのある場づくり

④表現力を高めるアクティビティの実践

(例) 1 minute talk
インタビュービンゴ etc

-
- ・表現の定着
 - ・語彙や表現の引き出しの増加
 - ・表現の高度化と正確性

⑤振り返りカードの活用

- ・良さの共有
- ・教員やALTへの質問（知りたい表現）



各地区への希望調査から

- 小中連携の視点から、中学校で求められる指導上のポイントを教えて欲しい（A）
- 中学校英語の指導（導入）の方法について（K）

【これまでの成果】(再掲)から考えましょう

- ・様々な取組を通じて指導の充実が図られてきた。
- ・中学校においては、小学校における外国語活動の成果として、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成され、「聞くこと」及び「話すこと」の活動を行うことに慣れているといった変容が生徒に見られること等も踏まえ、授業における教師の英語使用や生徒の英語による言語活動の割合などが改善されてきている。

中学校学習指導要領解説外国語編 改訂の趣旨から

【今までの課題】

- ・学年が上がるにつれて児童生徒の学習意欲に課題が生じるといった状況や、**学校種間の接続が十分とは言えず**，進級や進学をした後に，それまでの学習内容や指導方法等を発展的に生かすことができないといった状況も見られている。
- ・授業では依然として，文法・語彙等の知識がどれだけ身に付いたかという点に重点が置かれ，**外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組**，特に「話すこと」及び「書くこと」などの言語活動が適切に行われていないことや「やり取り」・「即興性」を意識した言語活動が十分ではないこと，読んだことについて意見を述べ合うなど，**複数の領域を統合した言語活動が十分に行われていない**ことなどの課題がある。また，生徒の英語力の面では，習得した知識や経験を生かし，**コミュニケーションを行う目的や場面，状況等に応じて自分の考えや気持ちなどを適切に表現すること**などに課題がある。

1. 互いの考えや気持ちを伝え合う対話的な言語活動を一層重視する

互いの考えや気持ちを伝え合う

対話的な言語活動を一層重視する

1. 互いの考えや気持ちを伝え合う対話的な言語活動を一層重視する

① 互いの考えや気持ちを伝え合う

架空の誰かになりきって何かを表現するのではなく、
私が本当に考えていること、私の本当の気持ち

- ・考えをもつこと。伝えること。
 - ・教員も自分のことを伝えること。
- (コミュニケーションの手段として英語を使用)

1. 互いの考えや気持ちを伝え合う対話的な言語活動を一層重視する

② 対話的な言語活動を一層重視する

改訂の趣旨

「やり取り」・「即興性」を意識した言語活動が
十分ではない。

「話すこと [やり取り]」を、
年間を通じて、**確実かつ継続的に。**

質問は
ありませんか？



ご清聴ありがとうございました。



提出期限の確認（第5・6回講座）

①評価アンケート提出期限

講座終了後**3日以内** ⇒**8月4日（木）**

②リフレクションシート

講座終了後**1週間以内** ⇒**8月8日（月）**

* ボランティア・オブザーバー参加の先生方（神津島村・土浦市・伊万里市）は、提出の必要はありません。

明日 第7・8回（授業研究）の予告

○第7回講座 授業研究① ティーム・ティーチング

8月2日(火) 9:30~10:40

千葉県浦安市立日の出南小学校 第6学年

単元名 Let's go to Italy.

講師 百瀬美帆、米村珠子、タイソン、パトリツィア(明海大学)

○第8回講座 読むこと・書くこと

8月2日(火) 10:50~12:00

東京都足立区立寺地小学校 第6学年

単元名 How is your school life?

講師 池田周(愛知県立大学教授)